

2022年度 修士課程入学試験（秋期）

試験問題〔一般〕

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

問題を全て答えなさい。全受験生共通問題です。

必ず記号で解答すること。記述にて解答した場合は採点されません。

I.

各設問の空欄（ 1 ）から（ 10 ）に当てはまるものを、下記の語群から1つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

【問題 1】

普段のスポーツ報道よりオリンピック関連報道では女性選手の割合が高くなる。それはオリンピック大会では女性選手が（ 1 ）からである。

- ア. 過度に評価されている イ. 国を代表している
ウ. 男性選手よりよい成績を残している エ. 普段より努力している

【問題 2】

（ 2 ）年、国際ラグビー評議会（International Rugby Board：現ワールド・ラグビー）は、長い間ラグビーという競技の基本精神に関わるとされていた「アマチュア規定」を撤廃した。

- ア. 1985 イ. 1995 ウ. 2005 エ. 2015

【問題 3】

バレエにおいて足の1番～5番のポジションは、すべて（ 3 ）のもとに行われる。

- ア. スール・レ・ポアント イ. エレヴァシオン ウ. アン・デオール エ. アプロン

【問題 4】

スポーツは、（ 4 ）によって作り上げられ、維持されている。

- ア. 不変の伝統 イ. 国家の命令
ウ. 一部の人の個別作業 エ. 多くの人たちの共同作業

【問題 5】

19世紀末～20世紀初め、当時アメリカ野球界の中心人物だった（ 5 ）は、「野球起源調査委員会」（1905年）を設立し、野球がアブナー・ダブルデーによって考案されたとの「神話」を生み出した。

- ア. アルバート・スポルディング イ. アレクサンダー・カートライト
ウ. J・A・ネイスミス エ. ハリー・ライト

【問題 6】

武士道という言葉は、戦国時代の武将の生き方を描いた『(6)』のなかで初めて用いられたといわれる。

ア. 甲陽軍鑑 イ. 葉隠 ウ. 老子 エ. 論語

【問題 7】

生徒の学習意欲を喚起させるための体育の教材づくりの方法的視点として、①(7)の保障、②発達段階や興味・関心の考慮、③プレイ性の確保、の3点があげられる。

ア. 安全 イ. 学習機会 ウ. 学習内容 エ. 人間関係

【問題 8】

ゲーム場面において生じる課題を合理的に解決していくために自らの行動を決定していく理論を(8)といい、球技の授業において学習内容として位置付けられる。

ア. 作戦 イ. 戦術 ウ. 戦略 エ. フォーメーション

【問題 9】

スポーツ教育の国際的動向をみると、文化としてのスポーツをより良質のものにするために、現状を批判的に検討できる能力育成が求められている。例えば、米国のナショナルスタンダードを方向づける「(9)的教養を備えた人物」という理念です。

ア. 身体 イ. 社会 ウ. 科学 エ. 文化

【問題 10】

1872年の学制公布と同時に「体育」という教科の源流である「(10)」が始まった。

ア. 体術 イ. 体操 ウ. 体錬 エ. 遊戯

Ⅱ.

各設問の（ 11 ）から（ 20 ）にあてはまるものを、各問の下枠内の語群の中から1つずつ選んで、その記号を回答欄に記入しなさい。

【問題1】

下枠内のア～エは、古い順に（ 11 ）（ 12 ）（ 13 ）（ 14 ）である。

- | |
|--|
| ア. スポーツビジョン 21（通商産業調査会）公表
イ. 日本サッカーリーグ創設
ウ. Jリーグのリーグ戦がはじまる
エ. スポーツ振興投票法にもとづく「スポーツくじ」がはじまる |
|--|

【問題2】

下枠内のオ～クは、古い順に（ 15 ）（ 16 ）（ 17 ）（ 18 ）である

- | |
|--|
| オ. 指定管理者制度導入 カ. 観光立国推進基本法施行
キ. 総合型地域スポーツクラブ、モデル事業がはじまる ク. PFI 法公布 |
|--|

【問題3】

近代オリンピック商業化の端緒となったのは、1984 年の（ 19 ）での五輪である。同大会では、公式スポンサーを1業種（ 20 ）とすることによりスポンサー収入の増加が実現された。

- | |
|---|
| ケ. ロサンゼルス コ. トリノ サ. 1社 シ. 2社 ス. 複数社 |
|---|

Ⅲ.

各設問の空欄（ 21 ）から（ 30 ）に当てはまるものを、下記の語群から1つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

【問題1】

身体運動を行うためには骨格筋を動かすエネルギーが必要となる。このエネルギーは体内にある（ 21 ）がADP（アデノシン2リン酸）に代謝・分解されるときに放出される。

ア. 乳酸 イ. ピルビン酸 ウ. ATP（アデノシン3リン酸） エ. 脂肪酸

【問題2】

健康増進のために推奨されている適度な運動は、最大酸素摂取量の（ 22 ）%ないし無酸素性作業閾値（AT）以下の運動とされており、免疫機能を高め感染症のリスクを減らす。

ア. 10～20 イ. 20～30 ウ. 50～60 エ. 80～90

【問題3】

運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態を（ 23 ）といい、健康寿命の延伸のために早期から予防することが重要となる。

ア. ロコモティブシンドローム イ. メタボリックシンドローム
ウ. フレイル エ. サルコペニア

【問題4】

オーバートレーニング症候群の症状として代表的なものに、疲労感、免疫機能低下、うつ、（ 24 ）などがある。

ア. 体重増加 イ. 血圧低下 ウ. 低体温 エ. 睡眠障害

【問題5】

スポーツ種目により特徴的な動作を繰り返すことで運動器の微小損傷が生じ、さらに運動を継続することで修復不良の慢性的な障害へと移行する。このような障害を（ 25 ）と呼ぶ。

ア. 使い過ぎ症候群 イ. 筋断裂 ウ. 骨挫傷 エ. インピンジメント症候群

【問題 6】

睡眠脳波で判別される急速眼球運動と骨格筋の筋活動低下を特徴とする睡眠は（ 26 ）と呼ばれている。

ア. 徐派睡眠 イ. 半覚醒 ウ. レム睡眠 エ. ノンレム睡眠

【問題 7】

外傷・障害を持つアスリートが、リコンディショニングの過程で特に競技復帰に必要な機能を獲得するために行うのが（ 27 ）である。

ア. メディカル・リハビリテーション イ. アスレティック・リハビリテーション
ウ. ウェイト・トレーニング エ. 物理療法

【問題 8】

（ 28 ）は、例えば同じエクササイズであっても強度、量、スピード、姿勢などの違いによりその効果が異なってくることを表し、トレーニングを効果的に行うための主要な原則とされている。

ア. 特異性の原則 イ. 漸進的過負荷の原則 ウ. 可塑性の原則 エ. 反復性の原則

【問題 9】

METs（運動強度の単位）に時間（運動の実施時間）をかけたものは（ 29 ）と呼ばれ、身体活動量を表す単位とされている。

ア. パウンド イ. ワット ウ. カロリー エ. エクササイズ (Ex)

【問題 10】

アイシングにより、局所にある細胞代謝活性を低下させることで細胞の壊死を最小限に抑える（ 30 ）の抑制効果が期待できる。

ア. 浮腫 イ. 出血 ウ. 二次性低酸素障害 エ. 神経麻痺

IV.

【問題 1】

以下の (31) から (37) の記述について、正しいものには「ア」を、誤りを含むものには「イ」を、解答欄に記入しなさい。

- (31) 大脳皮質からの運動指令の最終出力部位は運動野である。運動指令は、脊髄にある α 運動神経に伝達され、そこからの信号を受けて骨格筋が収縮する。
- (32) 脳波は機能的 MRI に比べて空間分解能が低い。この低い分解能を補うためには、事象関連電位を計測することが有効である。
- (33) 脳内情報処理は、反応選択段階、反応同定段階、反応プログラミング段階に大別され、情報処理はこの順に進んでいく。
- (34) 関節を伸長する方向に力を発揮するように作用する筋を拮抗筋と呼び、同じ方向に関節を動作させる複数の筋群を協働筋と呼ぶ。
- (35) 同等の体格の一般人と持久的競技者との最大運動時の値を比較すると、心拍数は両者間でほとんど変わらないものの、心拍出量は持久的競技者の方が高い。
- (36) 脂溶性のビタミン B 群は、体内に貯蔵することが容易なので、過剰摂取に注意しつつも、日々摂取する必要がある。
- (37) 剛体リンクモデルとは、変形しない部位に身体を分割し、それらの各部位を剛体と仮定し、各部位が相互に連結することによって身体が構成されているとみなすモデルである。

【問題 2】

以下の (38) から (40) の問いにあてはまるものを、設問後の選択肢から選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。あてはまるものが複数ある場合は、複数を選択すること。

- (38) 運動時の骨格筋において、酸素を抜き取る能力に関わる要因として関係ないものは、以下のうちどれか。

ア. 活動筋の毛細血管密度

イ. 活動筋への血流量

ウ. ヘモグロビン造血能

エ. 活動筋の骨格筋線維の組成

(39) 身体運動の動作を定量するために収集するデータの組み合わせで正しいものを以下から選びなさい。

ア. ニュートンの第1法則と第2法則

イ. 関節角度と移動距離

ウ. キネマティック・データとキネティック・データ

エ. 筋張力データと床反力データ

(40) 速筋線維と比較したとき、遅筋線維が有する特徴として、正しくないものを以下から選びなさい。

ア. 経頭蓋磁気刺激法で可視化しやすい

イ. 最大収縮速度が遅い

ウ. 最大張力が小さい

エ. 疲労しにくい

オ. ヘモグロビンと結合しやすい

V.

各設問の空欄（ 41 ）から（ 50 ）に当てはまるものを、下記の語群から1つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

【問題 1】

スポーツコーチングでは、スポーツ場面の中で直接的要因と補助的要因をふまえないけません。直接的要因とは、科学的根拠・経年の経験則や試合結果などの評価要因で、技術・戦術・（ 41 ）などのトレーニング要因を相互に連携するシステム構築力です。このシステムには、補助的要因である活動施設・運営資金・（ 42 ）の管理などのハード面や生活環境を考慮した上で構成しなければなりません。

ア. 成績	イ. 体力	ウ. プランニング	エ. 戦略
オ. 肖像権	カ. 選手生活	キ. スポンサー	ク. 記録

【問題 2】

コーチングの過程には①（ 43 ）、②目標実現への取り組み・過程、③結果の評価という3つの段階があります。まず、（ 43 ）は、現状を把握し、課題を見つけ、どこまで到達するか目標地点を定めることです。そのために、各種測定の実施、競技会中の動作や（ 44 ）要素の把握、もしくはパフォーマンスそのものの評価などから始まります。

ア. 目標設定	イ. 体力	ウ. 気象	エ. 競技レベル
オ. 技能	カ. 技術	キ. トレーニング計画	ク. スカウティング

【問題 3】

ある運動を習得しようとする際に、現時点で最も普及している技術は何か、他にどのような技術があるのか、過去にどのような技術があったのかを知っておくことは、練習の大きな手助けとなります。技術には（ 45 ）があるとはいえ、（ 46 ）、運動経験が異なるすべての人にひとつの技術だけをあてはめようとすることに無理がある場合もあるでしょう。

ア. 個別性	イ. 目標	ウ. 経済性	エ. 体格や体力
オ. 合目的性	カ. 指導者	キ. 一般妥当性	ク. 時間的限定性

【問題 4】

自チームの優位を表現する戦術：自らの特徴を表現する方法、特にオフェンスで表現することが多いです。自らがイニシアチブをとり、相手がアジャストせざるを得ないように仕掛ける戦術です。例えば、バスケットボールでは、自らのチームがとても運動能力に優れ体力がある、そして走力があり速いという条件が揃えば（ 47 ）を主体とした切り替わり（攻守の切り替わりを意味する）、つまりトランジションの多い戦術を立てます。この成果とし

て相手は（ 48 ）に追い付けず苦しい展開となるはずです。

ア. オフェンス	イ. セットプレー	ウ. 体力的	エ. シュート
オ. 速攻	カ. ディフェンス	キ. 精神的	ク. 技術的

【問題 5】

アスリートの（ 49 ）を高めるためには、適切な「目標設定」が重要となります。適切な目標は、アスリートの注意や意識を目標達成に方向づけ、持続的努力や（ 50 ）の増強を促進します。このことに留意し適切な目標設定ができれば、アスリートは意欲的にトレーニングに取り組み、スキルやパフォーマンスを効果的に高めることができるでしょう。

ア. 競技力	イ. 体力	ウ. 技術力	エ. 目標
オ. 精神力	カ. 人間力	キ. 動機づけ	ク. 集中力

2022年度 修士課程
入学試験(秋期)
解答用紙〔一般〕

受験番号					
氏名					

※欄は記入しないで下さい。

I	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

※

II	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)

※

III	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)
	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)

※

IV	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)
	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)

※

V	(41)	(42)	(43)	(44)	(45)
	(46)	(47)	(48)	(49)	(50)

※

※
